

# 変化への対応

題字 変化への対応 揮毫 北宇和教育会OB 松浦 正樹 解説は3面



発行所  
(公財)愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスボワール愛媛文教会館内  
電話 (089) 945-8644  
FAX (089) 945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

## 生きた教材「移動水族館」



虹の森公園おさかな館館長 津村 英志

最後の清流四万十川に住んでいる魚を皆さんどのくらいご存じだろうか。ウナギにアユ、コイ、フナ、ハヤ、おいしい魚やなじみ深い魚はすぐ頭に浮かぶだろう。四万十川ではなんと二百五十種類以上の魚が確認されている。このうち淡水魚は六十種類程度しかおらず、残りは全て海水魚である。海水魚の多くは黒潮に乗って、南の暖かい海からやってくる。

おさかな館には、四万十川の魚をトラックに載せて、皆さんの学校を訪問する移動水族館がある。四万十川を題材に、川や魚の生態や地域の人の関わり、環境問題などを飼育係が紹介・解説している。魚だけでも人気の移動水族館だが、オプショで実施するペンギンやふれあい水槽には人だかりができる。好評をいただいている移動水族館だが、初めて実施する時には心配事があった。それは、展示する魚が愛媛県内ならどこでも見られる魚だということ。四万十川の魚は、普通種が多く固有種と呼ばれるユニークな魚は、ほほいしない。幻の魚「アカメ」がいるじゃないかと思われた方も多いと思うが、アカメは小さいうちには臆病で物陰に隠れて出てこないし、成長すると水槽から飛び出したり、驚いて水槽にぶつかって怪我をするので、連れていくことができない。なので連れていく魚には珍しいものがいい。「なんだ。こんな魚だけか」と子どもたちに飽きられないかと気に病

- (2) 学校紹介 岩城中学校
- (3) 地区教育会だより(南宇和) ローカルトピックス
- (4) (5) 特集 私の平成二十九年
- (6) (7) 第四十五回入選俳句
- (8) ふるさとスケッチ

んでいた。ところが移動水族館を実施してみると、「こんなきれいな魚、初めて見た」という意外な反応がほとんどだった。水槽に泳いでいる魚は、オイカワやカワムツなど、どこにでもいる魚だった。実際、学校の近くの川に行くと、簡単に見つけることができた。このことは、かなりの衝撃だった。今の子どもたちは川に行かない。魚を採ったことがない。だから魚を知らない。川を遊び場にしていた私の子ども時代とはえらい違いだと思った。子どもたちが大人になったとき、古里の自然に思いを馳せることができるのか、疑問を感じた。そんな時代が来ないように、おさかな館では、川や魚に興味を持つきっかけ作りを積極的にやっていきたいと考えている。

師走。時の流れの早さをことさら思う十二月。去り行くこうとするこの年への思いを漢字一字に表し、今や年末の風物詩となっている「今年」の漢字。公益財団法人・日本漢字能力検定協会が平成四年から始め、今年で二十五年目を迎える。漢字のもつ素晴らしさや奥深い意義を伝えるための啓発活動の一環として始めたそうだ▼人は、これまでも漢字を含む言葉に、様々な思いをこめて使ってきた。愛媛県でも「笑顔」を「愛顔」、ある先輩の教師は、「へき地(教育)」を「僻地(教育)」だと郷土愛をこめておっしゃる▼医学的見地から愛をこめれば、遺伝子の呼称の「優性」は「顕性」、「劣性」は「潜性」に。優劣があるとの誤解を避けるため。「突然変異」は「変異」に。「突然」という意味は含まれていないため。「色覚異常」「色弱」は「色覚多様性」に。遺伝子に多様性があるのは自然だという意見により。このような医学用語の変更に、該当する人たちへの愛がこめられている。今年出合った漢字で愛を感じたものはありませんか▼「今年の漢字」が愛であふれていますように。子どもたちが楽しみにしながら言葉を獲得し、日本人がこぞって、的確で温かい言葉の使い手になりますように。

- 昭和42年6月8日生 愛媛県今治市出身
- ・平成2年3月 愛媛大学理学部生物学科卒業
  - ・平成4年3月 愛媛大学大学院理学研究科生物学専攻修了
  - ・平成4年4月 県内企業の研究開発部所属
  - ・平成8年2月 松野町役場でおさかな館開館準備にあたる
  - ・平成9年4月 虹の森公園おさかな館飼育展示係主任(おさかな館オプショ)
  - ・平成11年4月 副館長就任
  - ・平成12年4月 館長就任
  - ・平成28年5月 公益社団法人日本動物園水族館協合理事就任
- 現在に至る

### 響きよう

ひとこと

体育学習の  
充実を切に願う



愛媛県小学校体育連盟  
会長  
乗松 秀樹

「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」が終わり、三年後に開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、国民のスポーツに対する関心が高まる中、中教審答申においてもスポーツの教育的価値に対する期待が明示されています。

愛媛県においても、全国体力テストで体力の上昇傾向が見られ、一定の成果を上げています。しかし、子どもたちの日常的な身体運動の減少による体力の低下や運動の二極化傾向の課題は、依然として残されたままです。

小学校においては、子どもたちが生涯にわたって運動に親しみ、健康で幸せな人生(豊かなスポーツライフ)を送るための基礎を育てる責務があります。放課後や休日、ほとんど運動する習慣がなく、家の

中でスナック菓子や炭酸飲料を手にとり、テレビを見たりゲームをしたりして過ごしている子どもたちにとっては、学校での年間を通して行われる百時間あまりの体育の授業と友達との外遊びの時間が、貴重な運動の機会かもしれません。しかし、ここで大きな課題となっているのは、体育の授業は、ほとんどの学級担任が行っているけれど、教科書がないながら、体育には教科書がないことと体育の授業づくりに関する研修の機会が少ないという現実です。

私たち愛媛県小学校体育連盟は、県下の全小学校の全学級で行われている体育の授業の質を高めたいという願いをもち、県下全十八郡市において研究を進めています。

また、教育委員会等とも連携をとりながら、「えひめ子どもスポーツTITスタジアム」や「えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業」などの体力向上事業推進にもかかわっています。

まだまだ思いは言い尽くせませんが、私たちの願いは「子どもたちの豊かで幸せな人生」です。

(松山市立さくら小学校校長)

学校紹介

No.184

上島町立岩城中学校

愛媛で唯一の参加校

花咲徳栄が初優勝した第十九回甲子園大会。愛媛県が開催地であるものでも俳句、書道など、今、日本各地で生徒たちが日本一を競って闘う、〇〇甲子園と呼ばれる全国大会が開かれている。その中の一つに離島甲子園がある。離島甲子園は岩城中学校野球部が Kanjima として愛媛で唯一参加している全

国離島交流中学生野球大会である。

毎年、開催地を変え開催しているのだが、今年(2017年)は日本の最も南西の市、沖縄県石垣市で開催された。今年(2017年)は初めて、私もチームに帯同し、他県のチームとの試合を楽しんだ。一口に離島といっても、岩城中学校のように、部員すべてに参加しても一チーム十数人のチームもあれば、人口七万人を超える僻地とはいえない佐渡島や奄美大島の選抜者で構成されたチームもある。

たまたま、開幕セレモニーで隣になったチームは、一昨年二十四時間テレビで全国放映された能古島のチームであった。あの時の中一の女子はチームのキャプテンとして、後輩六人と、一年ぶりの野球の試合を楽しみにこの地にやってきた。そんなチームもあった。

わが岩城中は、残念ながら一回戦二点リードの六回裏に三点を取られ、時間切れサヨナラ負けをした。試合に負けたことは確かに悔しかったが、選手は全力を尽くした。地元(岩城)の支援はすくなく、新聞の



俳画・水墨画教室  
佐々木ゆかり作

地方紙二紙は、離島甲子園特集を組んでいた。試合後は甲子園並みに、テレビカメラライントビユーはあるし、改めて大会の大きさに感動した。試合に負けた瞬間は残念だったが、様々なチームの参加や地元(岩城)の歓迎の大きさをみて、勝ち負けを超えた離島の交流の素晴らしさを実感した。そこには離島を愛し、支える人材育成という、大切なものがあるような気がした。生徒たちは今大会に参加したことで、他の島の良さを感じるとともに、改めて自分の島の良さを感じたと思う。岩城に生まれ岩城に育ったことのすばらしさを実感し、記憶したことだろう。そして今回行動を共にした生徒たちが、この大会をきっかけにして、島を支えてくれる人になってくれることを望む。

(教諭) 近藤 邦宏

題字に寄せて

変化への対応



北宇和教育会  
OB  
松浦 正樹

児童数八百を超える学校から、三十六名への減少の母校、この現実をどう読むのか。知識の伝達から、個性重視特性を伸ばす教育への展開をめざすべきと考えるべきだろうか。

教師は英語の導入、道德の教科化と対応に頭を痛めていると想像するところである。

一学級五人の子どもの本当に伸ばしてやらねばならない特性をつかんでいるのだろうか。

学校は地域の特性をふまえながら、何を伸ばし、どう指導すべきか。

一人一人の指導のあり方をどう描き、教師間の協力関係を工夫しながら、成果を出し、欲しいと願うものである。

地区教育会  
だより

継続を大切に

南宇和教育会



愛南町久良小  
校長  
田中 昭宏

平成二十九年度、南宇和教育会は、現職・OB・賛助会員合わせて四〇七名で組織されています。毎年退職された方がほとんど入会し、会を盛り上げていただいています。

南宇和教育会では、教育文化講演会や一日研修旅行、機関紙「南宇和教育会だより」の発行、各分会活動等を実施しています。これらの活動の中から、教育文化講演会と機関紙「南宇和教育会だより」の発行について紹介します。

教育文化講演会は、愛教研南宇和支部並びに郡校長会と共催し、毎年一回、県内の多方面で活躍されている方を講師に招いて実施しています。昨年度は、地域医療に貢献されている松本毅医師をお招き

して、生活習慣病の予防等について講話をいただきました。先生からは、食養生や運動療法など具体的な生活習慣の改善のヒントを示していただき、有意義な会となりました。機関紙「南宇和教育会だより」は、歴史が古く今年で第六十四号を数え、時の有志からいただく言葉や提言、学校紹介、新会員紹介、一日研修旅行等の記事を掲載し、会員から好評を得ています。原稿依頼等で苦勞はありますが、継続していきたい事業です。今後も、地道な教育会の活動を大切にして、会員相互のつながりを深めていきたいと思いをします。



教育文化講演会の様子

ローカルトピックス

川之江識字学級



遠足で全員集合

川之江識字学級は、子育てをする外国人の保護者の「この地で生きていく力をつけたい」との思いから、川之江隣保館の事業としてスタートし、現在六年目を迎えています。毎月二回（第二土曜と第四日曜の午前中）二時間、楽しく熱心に学習しています。

生徒は四国中央市内に住む諸外国出身の二十五名、指導

ボランティアは小・中・高校の教員有志とOBの計七名、乳幼児を別室で世話する保育担当者も二名ずつ輪番で参加してくれています。そして、時に、関心のある高校生が数名共に活動しています。

この学級は、文字や言葉を習得するだけでなく、集う人たちのつながりを大切にするものであり、「語り合い」や「歌う」「日本文化に親しむ」「クリスマス会や交流会を楽しむ」時間も取り入れられています。年に一度のバス遠足には、ほとんどの家族全員が参加し、大いににぎわいます。



高校生も交えて話し合い

文教月報編集協力委員  
四国中央教育会 田中あけみ

# 特集 私の平成二十九年

## 大好きな活動を通して



中西市居新 諭有香 教諭 矢野

私の一日は、毎朝同じ時間に同じ場所が始まる。若い時は、朝早く起きることが苦手だったが、今では自然と目が覚めるようになった。

早いもので西中も七年目。一年目は、毎朝七時から男女合わせて約八十名の生徒たちで駅伝活動をしていた。あれから時が経ち、四年目にして男子が全国大会に出場することができ、さらには五年目で念願の夢であった男女アベックで全国大会に出場することができた。ずっと叶えたかった夢が叶い、平成二十九年度の目標は「日本一」だ。今年も先輩たちのように、夢のスタート地点に立ちたいとみんな思っている。

しかし、今年のメンバーは男女合わせて三十七名と、今までになく少なく、元々のレベルが低い。それでも、夢を叶えたいと、毎日あきらめることなく必死で練習している。今は、まだまだレベルが低けれど、可能性はある。十月に入って少しずつ記録が伸びてきて、希望の光が見えてきた。

まずは、十一月三日の市駅伝でどこまでやれるか。そして、十一月十九日の県駅伝で、全国大会出場をかけた戦いに堂々と挑みたい。

ただ、結果は全てあとからついてくるものだから、とにかくプロセスを大事にして、最後までやり抜かせたい。

私は、この活動を通して、生徒たちに伝えたいことがある。信念がある。

それは、これからの人生において、苦しいことや辛いことは誰にでもある。でも、その時に、逃げるのではなくて乗り越えていってほしいということだ。この活動の中で、走っている途中で、苦しくなる時がある。その時に、自分を信じて乗り越えて、ゴールにたどり着く。こういうことの繰り返しで、きつと強い自分になっていけると信じている。

「本当のがんばりとは、辛

抱できないことを辛抱すること」。今年も、私の大好きな生徒たちは、証明してくれる。

## みんなの人権を考える会



小見水市永 直 教諭 佐々木

毎年、台本書きに追われながら一年が始まる。

二月に人権啓発劇の上演を行うようになって二十年ほどになる。毎年書く台本の締め切りが十二月。稽古をしながら手直しをするのが一月だ。市民有志が集い、部落差別をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて学習をする。月に一回程集まるメンバーは、ほとんど教員か教員OBだ。役者をするのは難しいが絵を描くのならできる、稽古に出るのは難しいが当日の照明係ならできる、というスタツフもある。みんな、何かの形で人権を考える機会をもちたいという熱意が伝わってくる。

稽古不足を幕は待たず、二月、本番。台本は胸を張れるほどのきではないが、演技

力は、観客から「異常にうまい」と評される。上演後、楽しい反省会とシビアな反省会、両方行う。四月は、なかなか会を開く時間がとれず、五月に次の劇と夏の研修会の計画について相談を始める。

昨年末に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されたので、改めて部落差別の解消に正面から向き合いたいと、研修会も劇も、部落差別をテーマとすることに決まる。

八月、教員対象の研修会。その後、劇に向けて取材と学習と台本書きが始まる。これが、私の平成二十九年。いつもの年のようで、毎年新しい。古いと思っていたことが、実は新しいことに気付く。

さて、また台本書きに追われながら、新しい学びと出会いを楽しみをするでしょう。

## 健康第一



小怒和市 諭森山 紗也子 教諭

私の平成二十九年は、インフルエンザと共に始まった。

高熱、関節や喉の痛み…、今まで健康だけが取り柄で、学生時代、ほぼ皆勤賞だった私にとつて、仕事を休まねばならないことは非常にショックだった(本当にご迷惑をおかけしました)。ベッドに横になり熱にうなされながら「今年」の目標は、「健康第一。」と強く心に誓ったのである。

健康な体にするためには、まずは丈夫な体づくりだと考え、私が始めたのはヨガだった。最近テレビでよく取り上げられる健康法であったし、以前、ヨガを少しだけ体験したことがあり、その時とても体の調子が良かったのだ。何よりお手軽に、しんどくなくできるというのは、運動嫌いの私にとって最大のメリットであった。ヨガマットを買い、実際にやってみると、すこぶる調子が良くなった。まず、肩こりがなくなつた。次に姿勢が良くなった。そのおかげで悩んでいた腰痛がなくなった。体の調子が良くなる

と、気持ちに余裕が出てきた。ヨガのポーズをとると、緊張がほぐれ、イライラしていた感情が、吹き飛んでいく感じがするのだ。今では、毎晩、仕事終わりにヨガをすることを楽しみにしている程だ。

怒和小学校に勤務して、今年で三年目になる。休み時間

には五名の全校児童と運動場で力いっぱいサッカーをする。給食はバランスの良い食事をいただく。そして、ヨガをして心も健康だ。せっかくなので近くに学校があるのだから、次はビーチヨガに挑戦しようかと模索中である。

### 校歌とともに…



伊予市双海中学校 教頭 篠原 康展

幼い頃は意味もよく分からず歌い続けていた校歌。最近その重さと奥深さに感動することが多くなった。この一年を、校歌とともに振り返る。三月。初の単身赴任で、三

年間を過ごした中学校を離任した。「燃えてたゆまぬ新居浜の北中学よ月栄えよ永久に」新聞で「太鼓祭り」の写真を見掛けると、言葉が真つすぐで裏がなく、情に厚い先生方と、熱く語り合った日々が、妙に懐かしく甦った。四月。「夕日が染める茜の空は明日の勇気が生まれるところ」が新たな生活の場。下校する生徒を優しく包む茜色の空と、一人一人の生徒に愛情たつぷりの声をかけて見送る先生方の姿に感動した。縁もゆかりもないと思っても、人は、「どこかで」「何かで」繋がっている。そしてその土地それぞれに大切にしている文化があり、育んでいる夢がある。転勤が与えてくれたかけがえのない絆。八月。三十七年ぶりに実現

### 祝 受章・受賞おめでとうございます

◇旭日小 綾章 (秋の叙勲) 71歳 元松山市立双葉小学校校長 (元県公安委員会委員長) 伊予市

◇瑞宝双光章 (秋の叙勲) 70歳 元伊予市立北山崎小学校校長 砥部町

◇小田 直行様 70歳 元西条市立西条東中学校校長 西条市

◇高須賀康夫様 70歳 元東温市立川内中学校校長 東温市

◇浅野 保夫様 70歳 元宇和島市立城南中学校校長 宇和島市

◇瑞宝双光章 (高齢者叙勲) 88歳 元御荘町立中浦小学校校長 愛南町

◇長田 幸雄様 75歳 元県教育委員会委員 松山市

◇県教育文化賞 和子様 75歳 元県教育委員会委員 松山市

した母校の同期会。「築き続けろ明日もまた月ああ北中に月栄えあれ」最後に全員で歌って十五の頃の自分に思いを馳せた。と同時に、同期会は「再会」ではなく、五十二歳の「再開」だと実感した。そして、平成三十年一月。「再開」に気をよくした私は「卒業後四十年記念」の小学校クラス会を計画した。確か校歌の一・二・三番の最後には、校訓が入っていたはず。①正しく行かん②やさしく生きん③強く進まん月ほらからよ月④四十年の時を経て、生き方の原点に立ち返れと言わんばかりのこの校歌を歌って、私の平成三十年は始まる。

### 私の平成二十九年



八幡浜教育会 OB 二宮 隆徳

九月六日、ついに私の青春が終わった。大学時代に買った五つのコーヒーカップの最後の一つがついに壊れたのだ。うっかり落とし取っ手がとれた。三十代中頃だったかドライバーが壊れた時、私の青春が終わったと思ったが、まだまだ若いと気を取り直し

ていた。退職しても、膝、腰、手などの関節の痛みはあるものの、毎日山に行き伊予柑やみかんづくりに精を出しており、まだ若いと思っていた。実際近所には八十五歳を超えた現役農家の方も居る。けれど、六十五歳になる年を迎えたら肺炎球菌感染症の予防接種無料の案内や老齢厚生年金の書類が来る等「老いているよ」とささやかれる。顔を洗い鏡を見ても昨日と変わらぬ今日の顔。ジワジワと歳は取るが、体に大きな変化がなければまだ若いぞと思っておれる。たまに後頭部を見るとシヨックだが。ということ、特別変わったことのない日々を過ごしている。元気に働いて日々を過ごしていくことが、四月に亡くなった母に親孝行らしいことをしなかつたと思っっている。私のただ一つの親孝行かな。原稿を書いて今総選挙の最中。ネットのニュースで「櫻坂46の歌詞が政局とピツタリ」「仲間から撃たれた」枝野幸男氏熱唱か」とあり「不協和音」を知った。歌詞を読み歌を聴いた。アイドルグループがこんな歌を歌うとは知らなかった。私には早口言葉のようなリズムで、歌えない。もう若くはない。

教育の振興を目指す！

日教弘の 3大事業

教育振興事業 (奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)

福祉事業

共済事業 (提携保険事業)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部

〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内

TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

足跡をつづる、私を記す形に残す。

あなたか主人公のドラマを未来に伝えませんか。

受賞作品 多数制作

自分史 作品集 研究報告 記念誌 業績集 旬集 エッセイ集 写真集

本づくり応援

品質・デザイン力に自信あり!

プロのスタッフが校正作業をサポートします!

プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

●規格・裁丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提案

●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ーその他、ご相談承ります。ー

ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

松山市・松山南町7丁目1 TEL(089)945-0111

松山市・松山南町4丁目1 TEL(089)377-1230

支店・大分・高松 営業所・松山南町 TEL(089)945-0111



第四十五回愛媛県教育会俳句募集入選句  
協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

一般の部

投句者 四九名 投句数 六八句

近藤良郷先生選

特選

病室に響く汽笛や秋の風

松山市 宮本 由美

(評) 療養の身。病氣のことなど思い巡らせていると突然に汽笛が響いてきた。ふと吾に返り、秋風を感じた。その秋風のさびしいこと。

優秀

今日果つる命あるらむ蟬しぐれ

西条 渡部 喜生

母の手を払い走る子新入生

四国中央 高橋八重子

佳作

親子してキャッチボールの刈田かな

北宇和 大川 実

天守より望む瀬戸内遠霞

松山市 野尻 精一

被爆地の平和宣言蟬時雨

今治越智 金子 敏雄

夏の海指差し船を数える子

松山市 峯本さおり

梅雨晴れや繰り返し読む子の手紙

松山市 井川 るみ

韓国の旅の記憶や団扇風

松山市 池本 順子

空梅雨や止まったままの腕時計

松山市 柴川智恵子

亡き母の黒き帯留め羅の帯に

松山市 平田さつき

負けて泣く児にも拍手の村相撲

四国中央 高橋八重子

下宿屋の暮らしに馴染み花は葉に

新居浜 永易まるみ

吉田晃先生選

特選

節くれた祖父の手に落つラムネ水

松山市 北須賀奈緒美

(評) 見たままをさらりと表現しているが、作者の目は祖父の人生を捉えている。昔の人には懐かしいラムネ水だが、それがこの句を味わい深いものにしてている。

優秀

負けて泣く児にも拍手の村相撲

四国中央 高橋八重子

春昼や行列長き弁当屋

新居浜 中原 佳子

佳作

長き夜の読書ここまでしおり置く  
星祭妻の快復祈りけり

松山市 野尻 精一  
今治越智 金子 敏雄

今日果つる命あるらむ蟬しぐれ

西条 渡部 喜生

梅雨晴れや繰り返し読む子の手紙

松山市 井川 るみ

零落つ枇杷の皮剥く君の手に

松山市 池田 尊之

ユーフォニュームの音伸びてゆく雲の峰

松山市 吉見香奈子

亡き母の黒き帯留め羅の帯に

松山市 平田さつき

病室に響く汽笛や秋の風

松山市 宮本 由美

子に渡す最後の夏のユニフォーム

松山市 武田 眞澄

下宿屋の暮らしに馴染み花は葉に

新居浜 永易まるみ

ジュニアの部

応募校 四四校 投句数 一、一〇八句  
(校名下の数字は学年)

高山佳子先生選

特選

ペンギンも空飛びそわないわし雲

石井小六 山下 貴大

(評) 陸を歩き、海を泳ぐペンギンが、空を飛んだのだからびっくり仰天。いわし雲から独創的な句ができました。

現職会員の皆様！

退職後のゆとりある生活のために・・・  
自助努力が必要です。  
月々2,000円から積み立てがはじめられます。  
年2回見直し可能！現在新規加入募集中！！

公益財団法人 愛媛県教育会の  
積立年金制度

電話 089-945-8644

※制度詳細については、パンフレットをご参照ください。MY-A-18-他-000396

啓林館

尋常小学算術  
(緑表紙)復刻版

広島支社  
〒732-0052  
広島市東区光町1-7-11 広島CDビル5F  
TEL 082-261-7246



選者紹介



俳誌「洪柿」顧問  
近藤 良悟

元小学校長  
元愛媛県俳句協会 松山俳句協会理事  
俳号「良郷」  
東温市在住



俳誌「水煙」同人会長  
吉田 晃

元中学校長  
日本学生俳句協会愛媛事務局局長  
松山市在住



俳誌「泉」同人  
高山 佳子

元小学校長  
松山市在住



俳誌「泉」同人  
池田 尊之

松山市立椿小学校長  
松山市在住

優秀

父の日に見せたい一本せおい投げ

お盆の日似た顔集まる祖母の家

海わたるクラゲのじゅうたん日ぶり島

佳作

三兄弟いっしょに入る初湯かな

夏ふじをまどから見たよ空の旅

秋高し両手ひろげて一輪車

なくせみがわたしに気がつきだまりこむ

いもうとのつたいあるきではるをまつ

えき前のカットや出れば秋の風

後転が初めてできた体育の日

一皿に乘らぬ長さの秋刀魚かな

手放せばやみにほたるの草書文字

パレットで一色付け足す秋景色

あなだらけ葉っぱのおおむしかくれんぼ

うらめしや台風通過で旅中止

暮れる空何を思うか終戦日

かばんには水着と宿題祖母の家

星月夜泣いて笑った準優勝

たちばな小四 吉岡 七海

小野中三 濱田 妃捺

立間小四 河野 舜祐

神郷小五 池本 直聡

宮前小五 和田 悠花

桑原小四 荒木 智咲

道後小二 山岡 真優

伊台小二 堀内 理名

久米小三 山下 優莉音

椿 小六 渡部 晃生

椿 小六 松本 翔吾

双葉小五 松岡 知里

立間小六 宮本 瑠里

篠山小三 山本 煌

さくら小五 角川 宙聖

勝山中三 友近 凜音

垣生中三 小笠原 華

保内中二 松本 京

池田 尊之 先生選

特選

フリスビー当たって落ちる青時雨

(評) フリスビーが濡れていた木に当たり水滴が飛び散った瞬間を切り取っています。季語の青時雨が効いたみずみずしい感性の句。

優秀

夏雲にとうめいゴンドラとけていく

ぬけたはのすきまにストローしゃぼんだま

しぼんでるきのうみていたあさがおが

佳作

かにはつけんちちゅうでやめたこおりおに

山もりで二はいおかわりくりごはん

秋風に入居者募集のはたゆれる

せみないたたんこぶできたひるやすみ

一歩ずつ声高くなるすいかわり

新幹線夕焼けめがけ走り出す

帰り道いっしょにぬれるかたつむり

台所西日をあびて母が立つ

かわあそびあしだけつけたよたきのそば

場所をとりいつかいつか待たつ花火

こおりおにあせびつしよりの中休み

いわし雲新品シューズと風をきる

オムレッツの頂に立つ鯉職

いとこ来てせんこう花火に光る顔

バスを待つ私と君と夏の蝶

八坂小二 池田 琴音

垣生小三 末元 瑛心

桑原小六 土屋 理帆

日浦小一 坂本 竜太郎

たちばな小四 長岡 琴乃

栗井小六 玉井 利玖

道後小二 村田 更紗

湯築小四 坂本 陽歩

伊台小一 久保 美佑

石井小四 近藤 美海

平 小三 尾崎 大輝

石井小六 白石 健人

船木小六 伴野 悠之助

立間小三 林家 悠佑

小野中三 林 鮎美

平成29年度 第45回俳句募集応募状況

ジュニアの部				一般の部		
校種	地区	校数	応募数	地区	人数	
小	新居浜	12	22	四 国 中 央	2	
小	松山市	21	766	新 居 浜	2	
小	大洲市	1	80	西 条	2	
小	宇和島	3	124	今 治・越 智	1	
小	南宇和	1	16	松 山 市	35	
				東 温	1	
中	松山市	5	82	伊 予	1	
中	八幡浜	1	18	内 子	1	
				八 幡 浜	1	
				宇 和 島	2	
				北 宇 和	1	
合 計		44	1,108	合 計	49	
(参考)	28年度	21	373	(参考)	28年度	25
(参考)	27年度	32	645	(参考)	27年度	32
(参考)	26年度	23	554	(参考)	26年度	40

入選者の賞、副賞

賞、副賞	ジュニアの部 (県学校生協賞)	一般の部
特 選	賞状、辞典	賞状、当該俳句入り色紙 (大倉可貴先生画)
優 秀	賞状、筆記具	賞状、筆記具
佳 作	賞状、筆記具	賞状

ふるさとスケッチ

No.406

初夏の赤松遊園地



宇和島市城北中  
市教諭 兵頭 浩章

赤松遊園地は宇和島港の入り口、本校住吉校区の大浦の海岸沿いの端にある小さな公園です。奇岩の覗き岩があり、昭和の初期に宇和島運輸が遊園地として整備して昭和四十年代頃までは海水浴場として賑わっていたそうです。私は高校の時のボートレース大会や子どもが小さかった時に釣りや砂浜で何度も過ごした思

い出があります。藤棚の下にある使われなくなったレトロな遊具や海上ブランコ、そこから眺める海と鬼ヶ城系系山々、昭和の面影が残るこの場所がずっと残って欲しいと思います。



ご冥福をお祈りします

定岡 壽美香様	92歳	四国中央市豊岡町長田三七	29	10	6
合田 弘様	98歳	四国中央市豊岡町長田三七	29	10	6
白石 幸雄様	92歳	大洲市阿蔵甲一八五五	29	10	8
高田 カメ様	90歳	北宇和郡鬼北町目目三七	29	10	10
宮領理一郎様	85歳	伊予市市場四四	29	10	17
大政 和子様	99歳	松山市東石井四丁目三一	29	10	17

十一月号において、八面「ご冥福をお祈りします」の欄で、「福田成様」を「福田敏茂様」と誤記したことをお詫びし、訂正いたします。

お知らせ

◆「えひめ教育の日」関連写真

「えひめ教育の日」関連写真の募集も、今年で十回目を迎えました。県内八十校より、「未来へ羽ばたけ！愛顔のえひめっ子」をテーマとした作品百四十点をお寄せいただきました。その中から、「幼稚園・小学校の部」、「中学校・高等学校の部」の部門別に、大賞各一点、優秀賞を各三点選ばせていただきました。

大賞

《幼稚園・小学校の部》



見事な炬火へ大賞

今治市立九和小学校

《中学校・高等学校の部》

はじける愛顔大賞



上島町立弓削中学校

参加校の優れた作品は、文教会館、愛媛県庁ロビーで展示し、大会パンフレットでも紹介いたしました。

優秀賞

《幼稚園・小学校の部》

「垣生っ子農園じゃがいもほり」

新居浜市立垣生小学校

「魚のつかみ取り」

松山市立中島小学校

「畑野川秋季大運動会」

久万高原町立畑野川幼稚園

《中学校・高等学校の部》

「宮窪水庫レース大会」

今治市立大島中学校

「日浦夏休みわくわくキャンプ」

松山市立日浦小・中学校

「内子町 町並み観光」

英語ボランティアガイド  
愛媛県立内子高等学校

◆図書室から

文教会館では蔵書（教育関係図書、児童生徒用図書、教育会関係資料、句集等）の貸出及び閲覧ができます。

寄贈図書

この度左記の図書をご寄贈いただきました。

（寄贈者）

松山子規会



ハウジング事業のご案内

学校生協がハウジングメーカーと提携することによって、学校生協組合員様のライフスタイルを応援させていただきます。新築・マンション・リフォーム等、多数のハウジングメーカーと提携しております。

詳しくはホームページをご覧ください

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話(089)925-0555  
または 郡市学校生活協同組合  
http://www.ehime-gakuseikyou.jp



ヒマラヤ スポーツ お得なご案内



組合員様向けチケットを精算時にご提示いただくと店頭表示価格から5%OFFになります。

ウインタースポーツやジョギング用品の購入に是非ご利用ください!



お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話(089)925-0555  
または 郡市学校生活協同組合